

平成28年度 空き家に関する自治会アンケート調査 集計結果

裾野市建設部まちづくり課（平成29年4月）

「空き家に関するアンケート調査」へご協力いただき有難うございました。このたび、結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。なお、個人情報保護の観点から、概要となりますことをご了承願います。

【調査概要】

- 調査対象：市内すべての自治会（全85区）（管理者のある別荘地を除く） ● 期間：平成28年9月～12月
- 実施方法：区長会にて依頼、空家の有無に関わらず、すべての区より書面または口頭により回答（回答率100%）
- 調査対象：地区内にある、1年以上利用されていない一戸建ての空き家全て

【空き家】

1年以上、居住その他の使用がなされていないもの「空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針」より

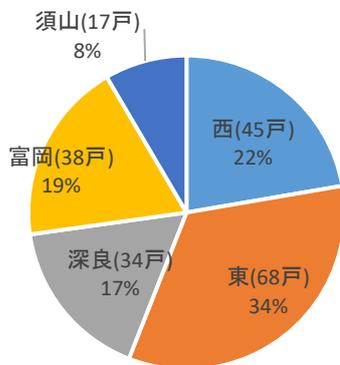
【特定空家】「特定空家等に対する措置」に関する適切な実施を図るために必要な指針（ガイドライン）より

- (イ) そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
- (ロ) そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- (ハ) 適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
- (ニ) その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態

【結果概要】

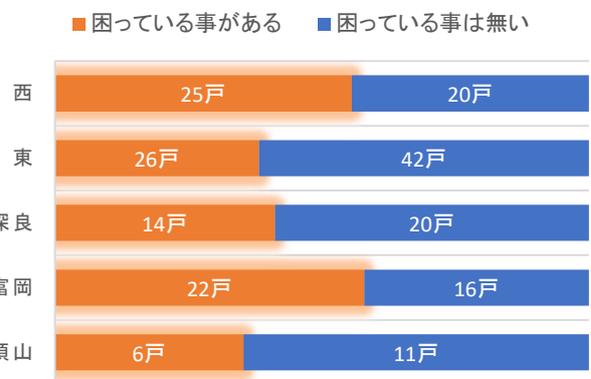
- 1年以上利用されていない一戸建ての空き家は、市内に202戸
- 困っていることがある一戸建ての空き家は、市内に93戸（空き家全体の46%）
- 困りごとの多くは、雑草が生い茂って火災が心配、不審者が侵入する恐れがある、といった防災面
- この1年で、新たに23戸の一戸建て空き家が発生している（空き家全体の13%）

Q1：空き家はありますか？（n=202）



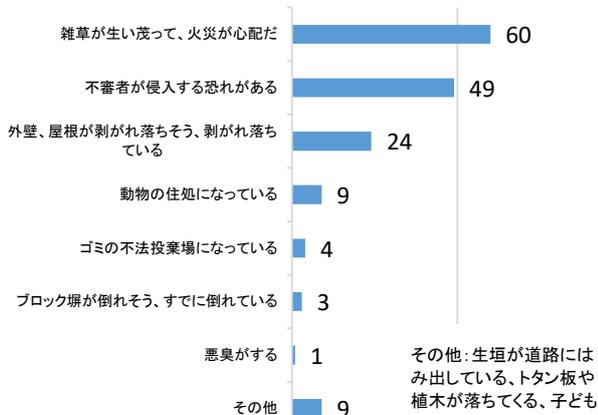
空き家は市内に202戸で、全体の6割を東西地区が占める

Q2：空き家で困っている事はありますか？（n=202）

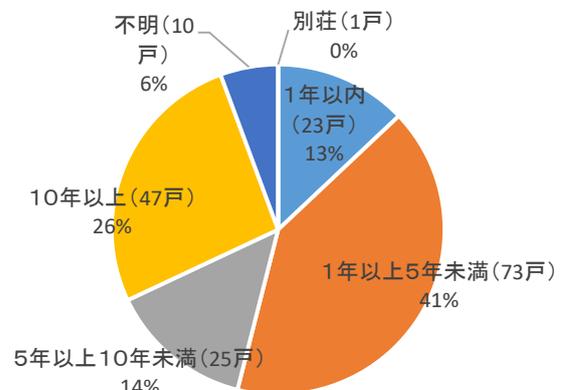


困っている空き家は市内に93戸で、西と富岡は半数以上

Q3：どのようなことにお困りですか？（複数回答）



Q4：いつ頃から空き家になっていますか？（n=202）



この1年で23戸の空き家が発生している

【今後の対応について】

ご報告いただいた物件については、職員が現地調査を行い、地域への影響が大きいと判断されるものについては、所有者に対して、適切な管理をお願いするなど個別の対応を進めております。